

このへ 議会だより

Gonoha Assembly News

議会広報
平成31年1月
第30号

第25回定例会(平成30年12月定例会)

第25回定例会 ……	2	所管事務調査 ……	3	一般質問(5人) ……	4
県外視察報告 ……	10	議員活動報告 ……	12	編集後記 ……	12



五戸町消防団月例検査の様子

五戸町消防団では毎月1回大隊ごとに集合し月例検査を行う。この日も日の出直後に集合を完了し、氷点下8℃の中、人員・機械器具の点検を機敏に行っていた。これら団員のたゆまぬ努力により、町民の安全と財産が守られているのだろうと心強く感じた。

第25回 平成30年12月 定例会

12月6日から11日までの6日間の会期で定例会が開催された。

議決件数 18件			
原案可決	同意	承認	認定
16件	1件	1件	0件

町長提出案件

専決処分の承認 1件

- 平成30年度五戸町一般会計補正予算(第3号)

補正額(増額)

122万円

・予算総額(補正後)

94億6833万円

【主な内容】

- ・大雨洪水、台風の際の避難所開設に伴う時間外勤務手当等。

審議の結果

全員賛成で承認

規約の変更 1件

- 十和田地域広域事務組合規約の変更

- ・監査制度の強化を図るため識見を有する者から監査委員を選任するための規約の一部改正。

条例の一部改正 6件

- 五戸町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

- ・議会議員の期末手当の支給割合を改める。

●五戸町町長等の給与に関する条例の一部改正

- ・町長等の期末手当の支給割合を改める。

●五戸町特別参事の設置及び給与等に関する条例の一部改正

- ・特別参事の期末手当の支給割合を改める。

●五戸町職員の給与に関する条例の一部改正

- ・職員の給料表及び手当の支給割合を改める。

●五戸町デイサービスセンター条例の一部改正

- ・利用者の範囲及び所要の改正。

●五戸町斎場設置条例の一部改正

- ・指定管理者制度の導入に伴う所要の改正及び町外居住者の使用料の見直し。

補正予算 9件

- 一般会計補正予算(第4号)

補正額(増額)
6143万8千円

- ・予算総額(補正後)
95億2976万8千円

【主な内容】

- ・ふるさと納税返礼品等
1200万円
- ・ふるさと納税寄附金基金積立金
4000万円

●国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

- ・国民健康保険特別会計繰出金
1600万2千円
- ・保育所等整備交付金
5579万9千円
- ・子どものための教育、保育給付費
3556万9千円

●後期高齢者医療特別会計繰出金

- ・後期高齢者医療特別会計繰出金
△1416万2千円

●認定こども園施設整備交付金

- ・認定こども園施設整備交付金
△3850万9千円

●小、中学校エアコン設置工事実施設計業務委託料

- ・小、中学校エアコン設置工事実施設計業務委託料
995万9千円

●後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

- ・補正額(増額)
1776万6千円
- ・予算総額(補正後)
5553万円

- ・一般会計繰出金
1794万7千円

【主な内容】

- 国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

補正額(増額)
5109万円

- ・予算総額(補正後)
23億4954万7千円

【主な内容】

- ・一般被保険者高額療養費
1158万2千円
- ・国県等補助金及び負担金返還金
2654万1千円
- ・退職被保険者等医療給付費分
△506万5千円

●介護保険特別会計補正予算(第3号)

- ・補正額(増額)
8179万9千円
- ・予算総額(補正後)
24億3450万1千円

【主な内容】

- ・施設介護サービス給付費
5553万円
- ・過年度分返還金
9630万1千円

●簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

- ・補正額(増額)
168万4千円
- ・予算総額(補正後)
9630万1千円

- ・住宅介護サービス給付費
△3000万円

●下水道事業特別会計補正予算(第2号)

- ・補正額(減額)
△78万5千円
- ・予算総額(補正後)
4億1384万1千円

【主な内容】

- ・下水道台帳整備業務委託料
△84万2千円

●農業集落排水処理施設事業特別会計補正予算(第1号)

- ・補正額(減額)
△695万2千円
- ・予算総額(補正後)
1億1080万8千円

【主な内容】

- ・排水施設台帳整備業務委託料
△737万7千円

●簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

- ・補正額(増額)
168万4千円
- ・予算総額(補正後)
9630万1千円

【主な内容】

- ・施設介護サービス給付費
5553万円
- ・過年度分返還金
9630万1千円

【主な内容】

- ・光熱水費 108万円
- ・ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第1号)

号)

- ・補正額(増額)

307万6千円

- ・予算総額(補正後)

3070万7千円

【主な内容】

- ・放送設備UPSバッテリー交換工事費

183万6千円

●病院事業会計補正予算(第3号)

- ・収益的収入

243万4千円減の

28億1798万1千円

【主な内容】

- ・倉石診療所診療日の変更に伴う収入の減額

- ・収益的支出

5202万3千円減の

28億7374万6千円

【主な内容】

- ・人件費の減額
- ・資本的収入

企業債960万円を減額し3億5384万1千円

千円

- ・資本的支出

建設改良費1289万9千円を減額し5億1822万3千円

822万3千円

審議の結果

全員賛成で可決

追加提出案件

人事 1件

●人権擁護委員の推薦

◎柳 沢 一 範 氏 (60歳)



五戸町大字倉石又重

字中久木

主な職歴

元五戸町職員

農業

審議の結果

全員賛成で同意

総務常任委員会

10月10日実施

調査内容

○町税等の滞納繰越状況とその対応について

○空き家の状況について

○このへ郷土館の運営について

各関係課担当者から現在の滞納繰越の状況、空き家、廃校校舎の運営状況等、説明を受けながら現地調査を行った。

・滞納繰越状況

【税務課】 町民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税の滞納繰越の状況等の説明。税の公平性を確保する観点から徴収率の向上に取り組んでいくことが今後の課題。

【福祉課】 介護保険料の繰越については未納者の経済的状況を把握し分割納付など相談に応じながら徴収して行きたい。他教育課奨学金貸付繰越額についての説明。

・空き家の状況

【総務課】 今後、所有者の死亡や相続人全員の相続放棄により、自治体の手をつけられない危険な空き家が増加することが予測される。

○このへ郷土館の運営

このへ郷土館管理運営委員会から運営状況、施設・業務上の要望等説明を受けた。

委員 大沢 義之

委員 若宮 佳一

委員 尾形 裕之

委員 柏田 雅俊

委員 三浦 專治郎

委員 沢田 良一

副委員長 沢田 良一

委員 大沢 義之

委員 若宮 佳一

委員 尾形 裕之

委員 柏田 雅俊

委員 三浦 專治郎

委員 沢田 良一

副委員長 沢田 良一

委員 大沢 義之

委員 若宮 佳一

委員 尾形 裕之

委員 柏田 雅俊

委員 三浦 專治郎

委員 沢田 良一

副委員長 沢田 良一

委員 大沢 義之

委員 若宮 佳一

委員 尾形 裕之

委員 柏田 雅俊

委員 三浦 專治郎

委員 沢田 良一

経済常任委員会

10月18日実施

調査内容

○粒ヶ谷地地区経営体育成基盤整備事業(ほ場整備事業)

○リンゴ樹園地「黒星病」被害発生状況(浅水・北向)

○町道家ノ向梨木平線道路改良工事(扇田)

○浅水川広域河川改修工事・町道野沢岩ノ脇線岩ノ脇橋改築工事(豊間内)

農林課及び建設課から事業の内容や建設状況についての説明を受けながら、現地調査を行った。

委員 大沢 義之

委員 若宮 佳一

委員 尾形 裕之

委員 柏田 雅俊

委員 三浦 專治郎

委員 沢田 良一

副委員長 沢田 良一

委員 大沢 義之

委員 若宮 佳一

委員 尾形 裕之

委員 柏田 雅俊

委員 三浦 專治郎

委員 沢田 良一

副委員長 沢田 良一

委員 大沢 義之

委員 若宮 佳一

委員 尾形 裕之

委員 柏田 雅俊



北向地区りんご園

また、北向の果樹放任園を調査、行政指導で強制的な伐採は難しいため、県の黒星病発生防止対策に基づいた施策の説明を受けた。

【建設課】 平成29年度工事完了の町道、県事業の岩ノ脇橋改築工事を視察。

●経済常任委員会(5人)

産業経済、土木建設に関する事務を所管する。

委員長 松山 泰治

副委員長 川崎 七洋

委員 豊田 孝夫

委員 高山 浩司

委員 三浦 俊哉

委員 三浦 俊哉

委員 三浦 俊哉

委員 三浦 俊哉

12月定例会では5人の議員が一般質問を行いました。一般質問は、一般行政、教育、選挙、農地行政など町が行う行財政全般について質問できます。



すずき りゅうや 議員
鈴木 隆也

◆来年度の政策の重点事項は

町長 引き続き少子高齢化に
対応する事業を多方面
に展開する

質問① 来年度の政策の重点
事項は。

質問② 来年度、継続して行わ
れる主な事業は。



◆農業集落排水処理施設事業や 簡易水道事業の課題は

町長 老朽化に伴う維持費の
増加

質問③ 来年度、継続して行わ
れる主な事業は。

質問④ 来年度の主な新規事業
は。

質問①

来年度予算の規模と
骨格は。

答三浦町長

少子高齢化と人口減少
により町税の増加は期待
しにくい。

また、普通交付税は合
併算定替えにより2億円
ほど減少する見込み。
厳しい財政状況下では
あるが「最小の経費で最
大の効果」を基本とし、
事業評価や仕分けを行う
ことで歳出抑制に努めな
がら、計画的に基金を取
り崩し、平成30年度当初
予算計上額以内にする。

質問②

「五戸町まち・ひと・
しごと創生総合戦略」で
掲げる、進む少子高齢化
に対応するための多方面
にわたる事業の実施が政
策の重点。

質問③

予定している主な継続
事業。

- ・五戸町消防団25分団の
消防ポンプ自動車購入
- ・川内地区において防火
水槽設置
- ・子育てアパート等入居
費助成事業60世帯分
- ・八戸広域観光戦略推進
事業DMO関連負担金
の予算計上

質問④

予定している主な新規
事業。

- ・高齢者福祉対策として
地域密着型サービス事
業の小規模多機能型居
宅介護事業所を平成32
年度にサービスを開始
するための業務
- ・高年齢者福祉対策として
地域密着型サービス事
業の小規模多機能型居
宅介護事業所を平成32
年度にサービスを開始
するための業務

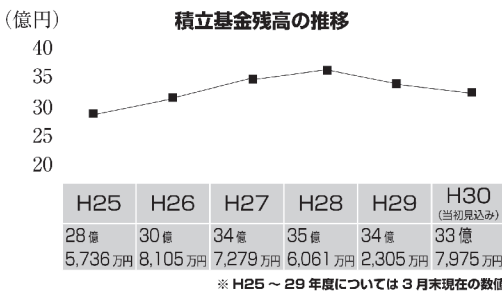
質問①

農業集落排水処理施設
事業(以後「農集事業」)
と簡易水道事業(以後
「簡水事業」)について、
認識している課題は。

答三浦町長

農集事業では供用開始
から30年以上経過してい
る施設があり、老朽化に
伴う機械設備の更新や
管路の修繕など、維持管
理費が増加している現状
で、今後どのように運営
していくかが課題。

簡水事業についても、
供用開始から40年以上経
過している施設があり、
維持管理費が増加する中、
どのように運営していく
かが課題。また、管路の
台帳が不十分なため、そ
の整備も課題。



- ・第2次五戸町総合振興
計画後期計画の策定
- ・地蔵平地区(園芸試験
場線)の工事着手
- ・五戸東地区中山間地域
総合整備事業1期分の
用地買収・工事着手

- ・下平谷地区のほ場整
備実施設計
- ・市町村設置型合併処理
浄化槽整備を計画する
ため、五戸町循環型社
会形成推進地域計画策
定業務委託



一般質問



とよ たか お 議員
豊田 孝夫

◆少子高齢化における介護の対策は

町長 設備・態勢を備えている

答三浦町長

自宅介護を選んでいる方は、約650名。介護支援については、社会福祉協議会で在宅、デイサービス、訪問サービス等、家族の希望などを聞きながら対応している。

質問①

要介護者の入居施設は何軒あり入居可能人員は何か。入居希望者の人数把握の方法は。

答三浦町長

特養4カ所で163名。グループホーム3カ所45名。有料老人ホーム4カ所136名。入居希望者は約100名。希望者の把握は必要に応じて施設に照会して人員の把握に努めている。

質問②

自宅介護者の把握と町社会福祉協議会の支援体制は。

◆当町の防災対策は

町長 自主防災組織の組成の研修会を実施した

質問①

前回の質問の折に、地区を母体にと答えていたがその後は。

答三浦町長

旧町内の12自治会に働きかけ、9月に研修会を開いた。来年度以降も同様に続けて組成の機運を高めて行きたい。また、自治会長会議においても働きかけをしている。

質問②

洪水のハザードマップの作成作業は。また全戸配布の予定は。

答三浦町長

洪水については県の見直し作業において浅水川は平成30年に、五戸川は平成31年に終了予定なので、その後に作業に入り、平成32年度には全戸に

答三浦町長

現在8カ所に設置している。主なところは、ひばり野スポーツ交流センター、町立公民館、五戸小など。また、川内、豊間内、浅水、倉石各コミュニティセンター等。

質問③

避難所、避難場所を表示する案内板の設置は。

◆国道4号を活用した施策は

町長 中心街の空洞化の懸念

質問①

国道4号沿いに道の駅建設を計画しては。

答三浦町長

小規模の修繕など行い今に至っている。移転新築は考えていない。

答三浦町長

国道4号バイパスを経由して町中に人は入ってこないと思うので考えていない。

質問③

国道4号を活用して町の認知度を高めては。

答三浦町長

公認キャラクターのオニコちゃんを活用したい。

質問②

ふれあい市は築後18年が経過し、移転新築を



質問④

施設利用について、当町に空きがない場合、他市町村の利用は可能か。



おがた ひろゆき
尾形 裕之 議員

◆五戸中学校3年生との意見交換会 での生徒からの要望

町長 大変貴重な意見である

- ・旧4号線の神明後の道路

答三浦町長

自治会からの要望も含め検討する。

「五戸中学校のトイレを新しくしてほしい」との意見だがいかがか。

質問①

答柳町教育長

調査、検証の上順次交換していく予定である。

「道路・歩道の拡張及び整備をしてほしい」との意見だがいかがか。

- ・サテライト前交差点から村越とうふ店までの歩道
- ・志戸岸バス停下の歩道
- ・五小から五中の道路。特に尾形牧場付近の道路及び歩道

質問②

答三浦町長

融雪剤の設置等で対応している。

- ・西越屋せんべい店周辺など、坂道への滑り止め

質問③

「街灯を増設してほしい」との意見だがいかがか。

- ・サテライト前交差点から村越とうふ店まで
- ・松尾医院から荒町向かう坂道

答三浦町長

自治会より要望していただきたい。

質問⑥

「共働きなどで両親が家にいない子どもたちが、飲食や勉強等を友達と安全に活動できる場所を設置してほしい」との意見だがいかがか。

答三浦町長

地域交流館を図書館の側に建て、活用していきたい。

質問⑦

「ひばり野公園陸上競技場をタータントラックにしてほしい。またバドミントンセンターを設置してほしい」との意見だがいかがか。

答柳町教育長

タータントラックの改修工事費は約2億円かかるので、老朽化とともに考えていく。バドミントンセンターはドームを利用してほしい。

◆当町の移住・定住施策は

町長 次期創生総合戦略において対応

質問①

総務常任委員会の県外視察研修地である石川県珠洲市では大学と連携で能登里山マイスター養成プログラムなどで人材育成を図り、空き家を活用した移住・定住施策で人口増を目指していた。平成29年度では43人、施策を始めた23年度から

答三浦町長

現在は移住定住した方は3世帯8人です。珠洲市の例を大いに参考にさせていただきます。

◆健康宣言に係るラジオ体操の実施は

町長 検討していく

質問①

田子町では午後3時になると役場職員並びに町全体でラジオ体操をしている。当町も健康宣言しているので挑戦してはいかがでしょうか。

答三浦町長

庁内でも週2回昼休みに実施している。倉石村当時は実施していたが苦情があり終了した。今後、検討していく。



©東京ハイジ/五戸町

一般質問

◆町内の歩道が放置されすぎていると 住民や観光客からの苦言が多くあるが

町長 財政を見ながら優先順位を考えて
少しずつでもやっていく



かわさき しちひろ
川崎 七洋 議員

質問①

五戸町の道路、特に歩道について、破損したままの歩道や、草が生い茂り歩けないような歩道もある。歩道整備の要望は自治会から出ており、中学生からも出ている状態であり、町を訪れた町外の方からは『歩道が整備されていない』という悪い評価をもらってしまっているのが現状である。どう対処する予定か。

答三浦町長

五戸町の歩道整備は他の町村と比べて遅れていると思う。すべての道をといてわけにはいかないが、財政を見ながら優先順位をつけて少しずつでもやっていく。

質問②

県道については県に要望を出すしかないと思うが、優先的に直してもらえないような作戦などはないか。

答 大久保副町長

県の予算もかなり厳しいので危険な道路を直すのが優先になる。その他道路については今後も県

に対して強く要望を出していくので、住民の皆様のご協力もよろしくお願ひしたい。

◆商店街が今後も存続するための 振興計画は

町長 商工会と連携して支援
していく

質問①

商店街を使用したイベントは様々催され盛り上がりを見せているが、後継者育成という点から見ると成果がでていないように感じる。どのように計画していくか。

答 小村総合政策課長

日常的な経営については商店側が考えるべきと考えており、町から商工会が策定している経営発達支援計画に沿って、伴走型の支援を実施していると考えている。

質問②

今のまま店舗が閉まっていくと商店街でイベントを開催できなくなる。例えば役場職員の皆様に率先して商店街を利用していただくなどして各商店の売上の下支えをしてあげることができれば、後継者が出てくることのできるかと考えているがどうか。

答三浦町長

利用状況は把握していないが、その通りだと思う。強制はできないが、職員に促すようにする。

◆地域交流館(まちの駅)について 民意の吸い上げが足りないのではないか

町長 厳しい意見が多いため
来年度に町民アンケートをとる方針



歴史みらいパーク芝生広場

質問①

みらいパークの芝生広場に建設予定の地域交流館(旧称まちの駅)は立地について町民から異論が噴出している。町民への説明会の実施、あるいはそれに準ずる民意の吸い上げの実施は行わないか。

答三浦町長

来年度は五戸町総合振興計画の後期5カ年計画を策定する年であるため、町民アンケートを実施する予定である。地域交流館の建設を含め、歴史みらいパークをコミュニティパークとして整備していく方針についてアンケートでできるかどうか検討し、後期5カ年計画に盛り込む予定としたい。



たかやま こうじ
高山 浩司 議員

◆庁舎内にBGMを導入すべきでは 町長 試験的な導入を検討したい



質問①

音楽を聴きながら仕事をしたほうが作業の精度が上がる、また素早く作業ができる、逆にBGM無しの静かな環境では計算や、誤字脱字のチェックにミスが増えたという実験結果がある。

また、平成30年6月の時点で、約25自治体が庁舎内にBGMを導入しているというところである。五戸町でも、職員のストレス軽減、作業効率の向上及び、来庁住民へのリラククス効果の観点から、BGMを導入してはどうか。

答三浦町長

庁舎内へのBGMの導入は、さほど大きくない経費で出来ると思われる。高山議員の指摘するように

◆姉妹都市関係の解消も含め 再検討すべきでは

町長 国家間の問題を地方にまで波及させるべきではない

質問①

元徴用工裁判での、韓国最高裁による新日鉄住金に対する賠償支払いを命じる判決の確定や、慰安婦問題に関する最終的かつ不可逆的な解決を確認した日韓合意に基づいた、「和解・癒やし財団」の一方的解散は、国際常識に反した暴挙である。現在の日韓関係を考えた場合、姉妹都市関係の解消を含め、再検討すべきでは。



沃川郡との中学生交流

答三浦町長

国家間の問題を地方にまで波及させるべきではないと思っている。沃川郡との関係は良好であり、友好関係を促進し、姉妹都市関係を継続したい。

◆TPP協定発効による 五戸町の産業に対する影響は

町長 基幹産業である農業が最も影響を受けると予想

質問①

12月30日にTPP協定が発効されるが、五戸町の産業にどのような影響が出ると考えているのか。

また、影響が出た場合の対策は考えているのか。

答三浦町長

青森県への影響試算によると、県内農産物の清算減少額は20億〜39億円、水産物は5億〜10億円となり、品目別では豚肉が最大20億円で最も大きく、牛肉12億円、リンゴ7億円と見込んでいます。本町においても、基幹産業である農業が最も影響を受けることが予想され、経営者の高齢化や担い手不足の現状に更に悪影響を与えることが



予想される。町としては、国、県及び関係機関と連携を取りながらTPP対策を進めたいと考えている。

切谷内小学校6年生一般質問傍聴

12月定例会一般質問に切谷内小学校6年生児童7名が社会科の体験学習として議会を傍聴した。

当日は、鈴木議員の質疑が行われる中、校長先生及び担任の先生に引率され整然と傍聴席に着席し静かに傍聴していた。



傍聴の様子

傍聴後の児童の感想

◎少し緊張しました。分からない言葉が多くてとまどいましたが、五戸町のために、たくさん活動して、未来に向けていろいろのことを考えているのだと思いました。

大久保 尚輝

切谷内小学校6年生の皆さん感想ありがとうございます。

◆五戸町の予算をどうするかや、ひばり野公園のことなどを質問したり答えたりして、話し合われていることが分かりました。五戸中の3年生の意見を質問するなど、子どもの意見も取り入れていいなあと思いました。五戸町をよりよい町にするために、自分でもゴミ拾いなど小さなことを心がけたいと思います。

大久保 航椰

▼税金や五戸町の施設など大事なことを話し合っていることが分かりました。ぼくが思っていたよりも、たくさんお金が必要でびっくりしました。初めて傍聴して、五戸町がどうなっているのか少し分かりました。テレビで議会を見たことがないので、少しでも見て政治に興味をもちたいと思います。

大山 泰河

●五戸町のことについて、たくさん考えを聞くことができて良かったです。また、どのように話し合っているのかなど、実際に見ることができました。授業で五戸町の予算のことを勉強しましたが、そのことについても話し合われていて、勉強になりました。

類家 綾家



©東京ハイジ/五戸町

★五戸町のために町民の代表として議員の方や役場の方が考えてくれたことが分かりました。中学生の意見にも耳を傾け、住民のことを考えていることはありがたいことだと思いました。難しかったですけれども、議会の空気が感じられて良かったです。

豊川 瑞姫

◇私は6年生になって議会というものを知りました。何気なく過ごしていたけれども、五戸町にたくさん課題があつてびっくりしました。家の心配しかしていませんでしたが、今日をきっかけに五戸町にも目を向け、自分ができることがあつたらやりたいと思いました。家に帰ったら、このことを親と一緒に話したいです。今日はありがとうございました。

佐々木 晴花

☆議員のみなさんや役場の方が真剣に五戸町のことを考え、話し合っていることがよく分かりました。町について、まだまだ知らないことがたくさんあるので、もっと知りたいと思いました。傍聴させていただきありがとうございました。ありがとうございました。

類家 清鳴

議会改革における町民との意見交換会

平成30年12月19日町立公民館において五戸町連合婦人会及び商工会婦人部の方々約30名との意見交換会が開催され、五戸町議会議員15名が参加した。

議員は6グループに分かれて、女性の視点からの提案や要望に耳を傾けながら、意見を交換した。



議員との意見交換会の様子

- ・議員からは、議会改革検討委員会で審議されている案件について説明。
- ・議員報酬の増額
- ・政務活動費の支給
- ・議員定数の減
- ・タブレット端末導入

- ・委員長の報酬の増額等
- ・婦人会からは「現在の報酬の予算の範囲内の増額であれば検討してもいいのでは。そうなる議員定数はもっと減らすべきでは。」等意見が出た。
- ・婦人会及び商工会婦人部からは
- ・みらいパーク、代官所の利用について
- ・町民運動会、五戸まつりへの役場職員の参加促進
- ・歩道、通学路の環境整備
- ・ひばり野公園での犬の散歩のマナーの悪さ
- ・五中学校舎の周りの街灯の増設
- ・一般住宅の耐震工事の補助
- ・役場職員は率先して商店街で買い物すべきでは
- ・町観光協会の存続の意義は
- ・その他活発な意見が出た。

今後の町政の発展に資するため、各常任委員会ごとに県外行政視察研修を10月から11月にかけて行った。

総務常任委員会

研修期間

平成30年10月17日～

19日(2泊3日)

参加委員

- 委員長 三浦專治郎
- 副委員長 沢田 良一
- 委員 大沢 義之
- 委員 若宮 佳一
- 委員 尾形 裕之
- 委員 柏田 雅俊

視察先 石川県津幡町
視察内容 スポーツ振興について、ふるさと納税について

沿革概要

人口 37,618人。

石川県のほぼ中央に位置し面積110.59km²。

加賀、能登、富山県への分岐点として重要な役割を果たしている。

議員定数 16名

研修報告

石川県の中でもスポーツが盛んな町でシンボルスポーツであるレガッタや社会人相撲の全国大会は毎年開催。町体育協会は法人化されており様々な事業に取り組んでいることは現場の考えがすぐに反映されていて参考になった。

(報告者・若宮佳一委員)

ふるさと納税制度を特産品のPRとして取り組んでいる。過度な返礼品競争に加わらず町の発展に繋がるようにしていきたいとのこと。納税額は非常に少ない。返礼品では俱利伽羅米で3万円の組合せが一番多い。ふるさと納税に関しては当町の方が進んでいると感じた。

(報告者・大沢義之委員)



津幡町会議室にて



珠洲市議会議長の説明

視察先 石川県珠洲市
視察内容 大学連携について、空き家利活用について

沿革概要

人口 14,609人。

能登半島の最先端に位置し面積247.20km²、農林水産業が中心。珠洲固有の地域資源の有効活用、産官学の連携事業として国立金沢大学との交流を積極的に進め交流人口の拡大を図っている。

研修報告

議員定数 14名

珠洲市では大学連携で能登里山マイスター養成プログラムなど人材の育成をはかり、空き家を活用した移住、定住施策で人口増を目指していた。

(報告者・尾形裕之委員)

空き家を活用した様々な移住、定住施策を実施、これらの実績の背景には、産・官・学の連携の「すず里山里海移住フロント」という移住支援体制が功を奏していると思われる。その概要は、県や近隣市町、大学、能登定住交通機構、移住交流推進機構等のバックアップのもとに組織的に取り組んでおり地域の魅力づくりが効果を上げていると感じた。

(報告者・柏田雅俊委員)

民生常任委員会

研修期間

平成30年11月11日～

13日(2泊3日)

参加委員

- 委員長 川村 浩昭
- 副委員長 鈴木 隆也
- 委員 大久保和夫
- 委員 和田 寛司
- 委員 大沢 博
- 委員 古田 陸夫

視察先 石川県輪島市

視察内容

①ふれあい健康センター

について

②子育てへの取り組みについて(ファミリーサポートセンター事業、病児保育・病後児保育事業)

沿革概要

人口 27,322人。

能登半島北西部、金沢市から約120kmに位置し面積426.32km²。80km余りに及ぶ海岸線は、能登半島国定公園に指定され、北方海上は沿岸漁業の拠点となっている。

議員定数 17名



ふれあい健康センター

研修報告

①この施設は福祉や健康増進、子育てについての相談が全て解決でき、利便性の上で大変参考にしたと感じた。また現在、

当町では「地域交流館」の建設を模索しているがこの施設のように子どもが楽しんで時間を過ごせる設備を整備してはいいかがか。

②サポート会員の成り手不足等課題がある中、当町にマッチングしたシステムで事業を進められれば、町民の福利向上に資すると感じた。

また、「病児・病後児保育事業」の導入を考えた場合、子育て世代の親が安心して働くことができる環境が整うことになることから大変興味深い。しかし当町で導入した場合、多額の費用を要することから大変難しいと感じた。

(報告者・鈴木隆也委員)

視察先 石川県中能登町

視察内容 下水道事業の取り組みについて(事業の種類と整備状況、バイオマスメタン発酵施設)

沿革概要

人口 18,198人。

県外視察報告

報告中各市町の人口及び議員定数は平成30年4月1日現在のものであり、研修報告は「平成30年度 県外行政調査研修報告書」中の議員報告を要約したものである。

能登半島のほぼ中央部、金沢市から約50kmに位置し面積89・45km²。田園地帯と、丘陵地の豊かな自然環境に恵まれている。
議員定数 12名



バイオメタン発酵施設

況などに起因する問題が多く見受けられる。
(報告者・大久保和夫委員)

経済常任委員会

研修期間

平成30年11月19日～

21日(2泊3日)

- 参加委員
委員長 松山 泰治
副委員長 川崎 七洋
委員 豊田 孝夫
委員 高山 浩司
委員 三浦 俊哉

視察先 埼玉県ときがわ町

視察内容 森林資源を活用した「木」を活かした町の活性化への取り組み

沿革概要

人口 11,400人。
埼玉県のほぼ中央に位置し面積55・90km²、都心から55km圏内にある。

町の面積はスギ、ヒノキなど山林が約七割を占め、農林業を主な産業としている。

議員定数 12名

研修報告

地元産の森林資源を活用した内装木質化による公共施設の改修事業(とかがわ方式)は、経費の観点ばかりでなく、施設内の過ごしやすさという観点でもかなりの効果があったと思う。しかし現在は、公共施設も限られており、需要が減っているとのこと。この事業は前町長のトップセールスに頼っていたためどのように需要を喚起するかが今後の課題。当町も町有林に関して計画的に伐採し、長寿命化されていない施設に検討してもいいのではないかと思う。
(報告者・高山浩司委員)



内装木質化の施設見学

視察先 茨城県大子町
視察内容 商店街の活性化に向けた取り組み

沿革概要

人口 17,353人。
茨城県の最北西端に位置し面積325・76km²。中小企業庁において中心商店街の活発な活動が「はばたく商店街30選(2018)」の町の部で選定された。
議員定数 15名



空き店舗を活用

研修報告

大子町商店街は駅や、集客力のある観光地を近隣にもつ条件の良い商店街である。当町で当事業を導入しても同じ効果を得ることはできないものと考え。しかしながら

「商店街の売り出し方を考える」からスタートしている点は大いに学べきであり、商店街と行政とが一体となって方向性を定め、施策を共に打ち出して周りが補助していくという体制・姿勢が重要なのではないだろうか。
(報告者・川崎七洋委員)

視察先 宮城県加美町

視察内容 地域の交流資源を活用した農業・農村体験を通じたグリーンツーリズムによるまちづくり

沿革概要

人口 23,483人。
宮城県の北西部に位置し面積461km²。

雄大な自然環境に恵まれ古くから農業が盛んでスローフードの取り組みを全国へ発信している。
議員定数 18名

研修報告

加美町のグリーンツーリズムは学校単位が主で、多くの児童・生徒を受け入れ、平成29年度



加美町会議室にて

の実績は国内中学校9校1,170名、高校2校311名である。
更に海外から高校生69名、大学生89名、教師10名、社会人23名となっている。このように大人数の受け入れを可能にしているのは地域の方や農家の方の理解、協力が大であると感じた。
当町は農家民泊の登録数は1軒のみで平成29年度実績は4回、延べ16名であった。「このへグリーンツーリズム」の会員、農業体験を受け入れてくれる農家を増やし、農家民泊に繋げていく態勢づくりが必要であると感じた。
(報告者・豊田孝夫委員)

三戸郡町村議会議員研修会

平成30年10月25日、田子町にて三戸郡町村議会議員研修会が開催され、五戸町議会議員は13名が参加した。

研修会内容 三戸町長・田子町長・南部町長との「町政に係る施策について」意見交換会

三戸町長
「対話による協働のまちづくりに向けて」

田子町長
「たっこにんにくの生産が始まってから56年の歴史」

南部町長
「町政に係る施策について」

議員から活発な質疑が出された。



第24回連携中枢都市圏の形成に関する勉強会

平成30年12月27日、おいらせ町(みなくる館)において八戸連携中枢都市圏形成議員促進連盟主催による勉強会が開催され議員16名が参加した。

講演
「広域連携の最新の動向について」

講師
首都大学東京大学院 法学政治学研究科
教授 伊藤 正次 氏

現地視察
おいらせ町立給食センター、おいらせ阿光坊古墳館
*この勉強会は八戸圏域8市町村の振興・発展に資するため、平成21年度より各市町村持ち回りで開催。



編集後記

新年明けましておめでとうございます。今更言うまでも無く、今年5月から新元号に移行する大きな変革の年です。変革の年と言えば4月施行の県議選もさることながら、6月施行の町長選では5期20年もの間町長を務めておられる三浦正名氏が勇退を表明されたことを受け、新たな顔ぶれでの選挙になるかと思えます。

昨年11月、私を含め当選1期や若手の議員からなる会で主権者教育のため、五戸中3年生を対象に町政に対する意見交換会を実施しました。生徒の純粹な声を聴き、身の引き締まる思いを抱くとともに、選挙の大切さを伝えることができました。

棄権をせずに一票を投じましょう。一票を投じるために考えることが、将来の日本や五戸町をよりよいものにする力になるはずです。

委員 大久保 和夫

議会を傍聴してみませんか

3月定例会は3月7日開会予定です。
詳しくは議会事務局まで

TEL 62-2111 (代表)

日程が決まり次第「五戸ちゃんねる」
五戸町ホームページでもお知らせします。

次回の議会だよりは、平成31年4月発行予定です。

発行責任者
議長 和田 寛 司
委員 長 和 田 寛 司
委員 尾 形 裕 之
委員 若 宮 佳 一
委員 高 山 浩 司
委員 大 久 保 和 夫
委員 鈴 木 隆 也
副委員長 川 崎 七 洋
委員長 豊 田 孝 夫

広報常任委員会